

熊本県熊本市 テーマ: 昼も夜も歩いて楽しめる魅力的で、災害にも備えた都市空間の創出



市域面積：390.32km²
人口：732,643人
(R3.1時点)

【立地適正化計画】
平成28年4月公表 (都市機能誘導区域)
平成28年4月公表 (居住誘導区域)
【都市再生整備計画 (滞在快適性向上区域)】
令和2年3月公表

○ 道路空間の再配分による辛島公園及び花畑広場間の歩行空間化や、交通事業者と連携したまちなかループバスの運行を進めるなど、ハード・ソフト両面でウォーカブルなまちづくりを推進するとともに、市民協働による夜間景観の形成を進めることで、「昼も夜も誰もが歩いて楽しめる魅力的で、災害にも備えた都市空間」を創出する。

ハード事業 ソフト事業

○ 夜間景観魅力向上推進事業
夜間景観の拡充が望まれる市内各地 (イベント等含む) に照明機材を持ち込み、市民協働で魅力ある夜間景観の形成に取り組む。



地域・民間事業者 (地域スポット) ↔ 行政 (照明機材) ↔ 地域・民間事業者 (既存イベント)

新たな景観資源の創出 → 市民の注目・関心度の向上 → 付加価値の向上

昼も夜も歩いて楽しめるまちづくりの推進

○ ビジネス支援拠点施設整備事業
新型コロナウイルス感染症を契機とした新たな日常に対応した働き方の導入に向けて、森都心プラザ・情報交流施設2Fをリノベーションし、テレワーク等にも対応したビジネスサポートスペース等を整備。

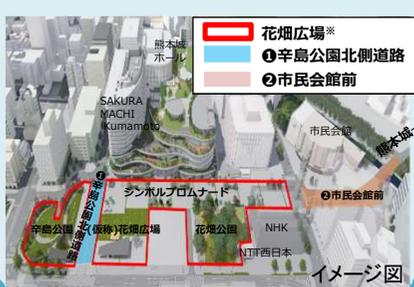


若者層を中心とした起業活性化による、新たな地域産業の創出及び本市経済の持続的発展を目指す。

イメージ図



○ 道路空間再配備事業
市民会館前及び辛島公園と(仮称)花畑広場間の道路の歩行空間を拡充し、一体的な利活用による更なる賑わいの創出と回遊性の向上を図る



花畑広場*
● 辛島公園北側道路
● 市民会館前

イメージ図

○ 駐車場配置の適正化
駐車場の附置義務台数の緩和や原則集約駐車場へ附置することにより歩行者等が安全にまちなかを通行できるようにする取組みを実施。

○ まちなかループバスの運行
新しい「熊本の玄関口」として整う熊本駅周辺地区と桜町・花畑地区等の回遊性を高め、賑わいをまちなか全体に波及させるとともに、公共交通利用者の増加を図るため早くて安くてわかりやすい「まちなかループバス」を運行する。

目標設定

中心市街地の歩行者交通量
中心市街地の歩行者交通量を3年間で約10,000人まで増加基調に
(従前値) 777,696人 (令和2年)
→ (目標値) 789,361人 (令和5年)

中心市街地の賑わい
中心市街地に賑わいがあると感じる市民の割合を増加基調に
(従前値) 59.2% (令和2年)
→ (目標値) 60.5% (令和5年)

中心市街地の公示地価
中心市街地の公示地価平均価格の上昇率を3年後には増加基調に
(従前値) 0% (令和2年)
→ (目標値) +3.6% (令和5年)